

ブッカーを使わない整本(事前補強)の方法

【用意するもの】

1. ステープラ

参考	製本用ホッチキス	(埼玉福社会)	22,000 円	160 枚
	厚綴じホチキス	(キハラ)	22,000 円	160 枚
	強力製本用綴機	(規文堂)	28,000 円	15mm
	フラットステープラ	(コクヨ)	20,000 円	130 枚

2. 木工用ボンド(コニシ・速乾タイプ)と水のり
木工用ボンドに水のりを2割加えたものを作っておくと便利

3. スポンジ・竹串・万能ボンド
 - ① スポンジ(水に強いタイプ)をカッターやはさみで切る
 - ② スポンジに切り込みを入れる
 - ③ 切り込みにボンドを塗り、竹串を刺す。
 - ④ 作れない人には、医療用口内洗浄スポンジ 1本60円位がおすすめ。

4. タオル

5. ブッカーの台紙

6. 布テープ(のど用)
ページヘルパーでも可能

【ソフトカバーの場合】



図 1 :
ステープラで 2~3 箇所留める。
【留める際は表裏逆から留める】

図 2 :
留めたホッチキスを金槌で平らにする。【カバーを破らない為】



図 3 :
カバーを切断する。
・ 上下を少し切断し、カバーを本より小さくする。←切り過ぎに注意
【本より大きいと上下からめくれる為】
・ ブックポケットをつける際はカバーの折込の部分切断する。



図 4 :
カバーの背に折り目をつける。

図 5 :
スポンジに竹串を挿した物で、木工用ボンドを本の背とその周辺（両側）に付け、カバーの位置を調整しつつ糊付けする。

ボンドが付きにくい時はサンドペーパー（紙やすり）で先に磨いておく。紙の粉は濡れタオルでふき取っておく。ボンドは濃い目のタイプ



図 6 :
固く絞った濡れタオルで背の部分からはみ出したボンドを拭き取る。
その後カバーの折り返しの部分（両側）にボンドを塗り、本に糊付けする。



【ハードカバーの場合】



図 7 :

カバーを切断する。

- ・ 上下を少し切断し、カバーを本より小さくする。←切り過ぎに注意【本より大きいと上下からめくれる為】

図 8 :

スポンジに竹串を挿した物で、木工用ボンドを本の背に付けカバーの位置を調整しつつ糊付けする。



図 9 :

木工用ボンドを本の背の周辺（両側）に付ける。



図10：
カバーの表から背の横の窪みに合わせて
定規で跡を付けカバーを密着させる。

図11：
本の淵にボンドをしっかり付け、残りの
部分は軽く付ける。



図12：
折り返しの部分にもボンドを付け、カバー
を貼り付ける。



図13：
ラベルキーパーの使い終えたシートをボンドがくっつくのを防ぐ為、本とカバーの間に挟む。

図14：
よく読まれる本には、折り目の所に布テープ（ページヘルパーでも可）で補強しておくが良い。

